

## ごあいさつ



新年明けましておめでとうございます

いつも弊社商品をお引き立ていただき心から御礼申し上げます。

2018年を振り返ると自然災害に見舞われた7月から9月の事が忘れられません。その中でも西日本豪雨や北海道胆振東部地震の被害は甚大で、多くの人々が苦しめられ涙するニュースが報じられました。その影響から個人消費が落ち込み、国内のグローバル企業を除き景気拡大傾向が続いていると言う実感が得られる方は、極少数ではないでしょうか。今年の漢字で「災」が選ばれたことが、国内動向の実態を指し示しているように思えます。また、深刻な人手不足は相も変わらず続いており、人手不足倒産が調査を始めた2013年以降で過去最高を記録する勢いで、最多はサービス業で建設業がこれに続けております。

2018年の眼鏡業界で特に話題となったのは、奇抜なCM「ハズキルーペ」と三井化学が発売した電子メガネ「タッチフォーカス」ではないでしょうか。ウェアラブルタイプのメガネも様々開発されていますが、これから本格的な実用期を迎えるであろうと思われれます。弊社においては、高エネルギー可視光線(HEV)カットシリーズの好調な販売が続く中、偏光オリジナルカラーシリーズも拡販が続き、来春には新たな展開を行う予定でおります。また、被写界深度延長設計「ESシリーズ」と輻輳不全用設計レンズ「CIFシリーズ」の広がりが見えはじめ、眼鏡関係のみならず医療関係皆様からも多くの問い合わせをいただくようになり、大変有り難く思う一年となりました。この活動を続け弊社が考えているビジョンケアは勿論のこと、ロービジョンの分野でもお役に立てるよう進んで参ります。これも偏に小売店皆様が弊社商品をご利用いただきながら、様々なご意見やご要望を伺えることが糧となっております。心よりお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

今年は新たな商品をご案内すると共に、商品の充実を図って行こうと考えております。どうぞ皆様のご販売に役立つ商品をご提案申し上げますのでご期待ください。

本年も倍旧のご愛顧をお願い申し上げますと共に、お得意様皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈りいたします。



2019年元旦

株式会社ティーエスエル

代表取締役社長 石切山 平仁